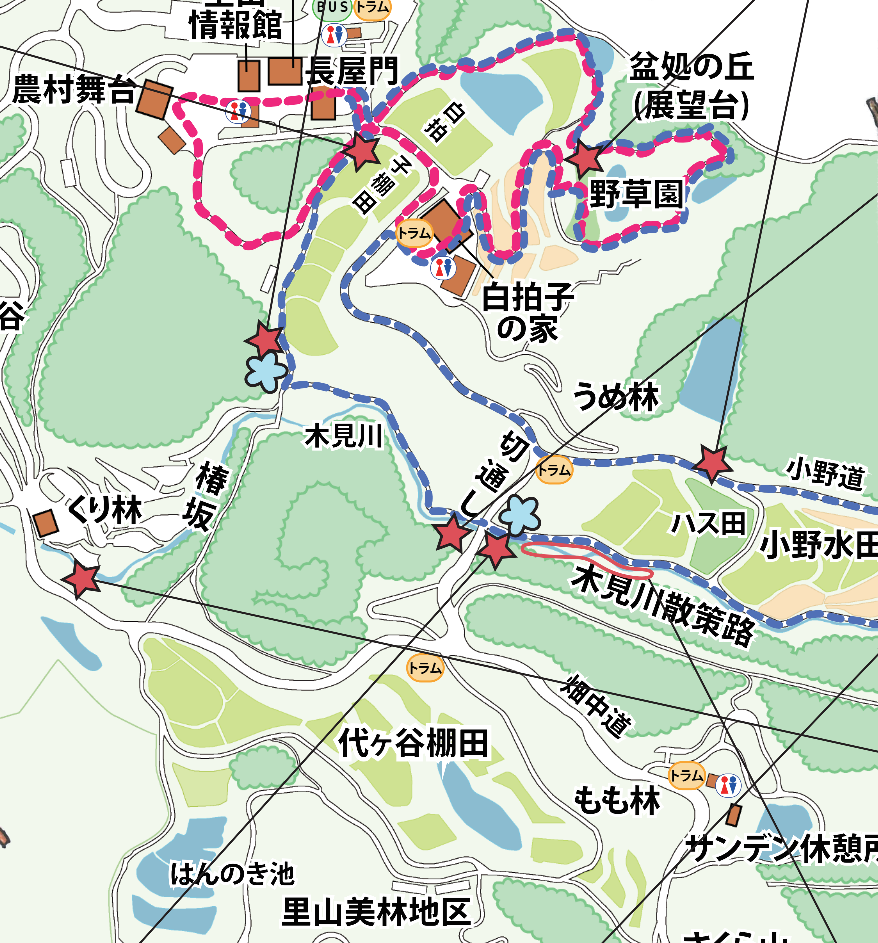
みごろの花&生きもの散策コースマップ 2022

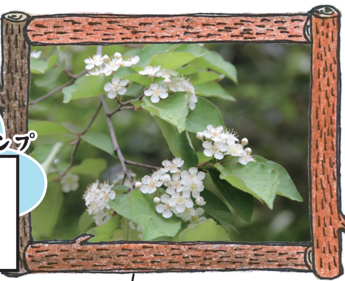
国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

4月中旬～5月中旬

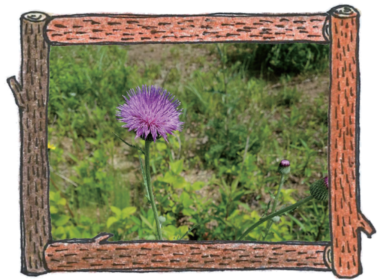
みごろスタンプ
園内に
ミニスタンプ
があるよ。
さがしにいこう！

- ----- 季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
- ----- おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

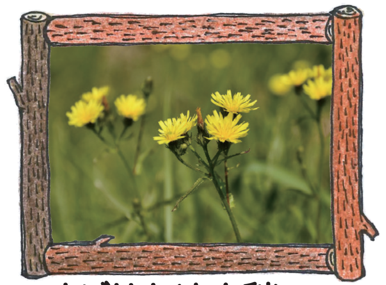

藍那口
小部明石線(県道52号)
相坂道
藍那歩行者口
木工棟
里山交流館
伝庫の家
里山情報館
BUS
トラム
長屋門
農村舞台
白拍子棚田
盆処の丘(展望台)
野草園
白拍子の家
畑中口
もみじ谷
かんきつ山
畑中道
めだか池
うめ林
木見川
切通し
小野道
相談ヶ辻の家
相談ヶ辻歩行者口
ハス田
小野水田
くり林
椿坂
せせらぎ広場
木見川散策路
畑中道
代ヶ谷棚田
もも林
サンデン休憩所
はんのき池
里山美林地区
さくら山
つつじの小道
みごろスタンプ



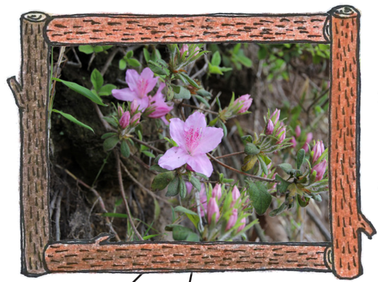
カマツカ(バラ科)
鎌の柄(つか)にできるほど材が強じんなことからこの名がついたそうな。牛の鼻輪にすることから「ウシコロシ」の別名も。



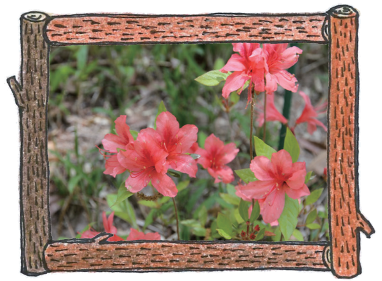
ノアザミ(キク科)
赤紫色の花が目立ちます。昆虫たちが蜜を吸いにくる姿もよく見られます。



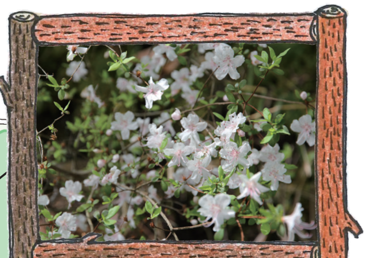
コウゾリナ(キク科)
花はタンポポに似ていますが、葉や茎をさわるとトゲトゲチクチクしています。



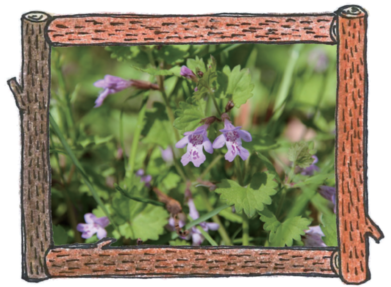
モチツツジ(ツツジ科)
花のつけ根がネバネバすることから、この名前がつきました。この花の開花は田植え準備をはじめる合図でもあります。



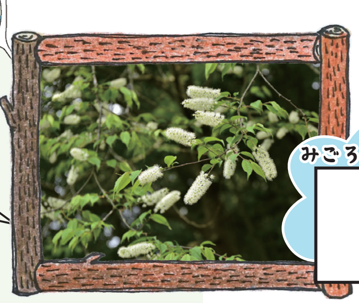
ヤマツツジ(ツツジ科)
朱赤色が目立つツツジです。新緑の山肌をあざやかにいろどります。



シロバナウンゼンツツジ(ツツジ科)
うす暗くて湿気の高いがけ地を好むツツジ。白くて小さな花が暗がりに浮かび上がり、まるで雲のよう。

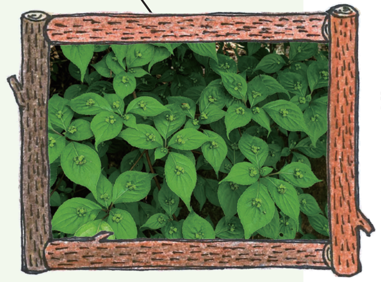


カキドオシ(シソ科)
名前は、垣根も通してしまうほど強い草という意味。とても香りがよく、お茶の材料にもなります。

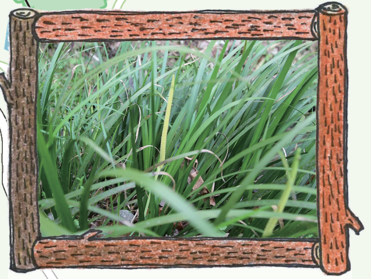


みごろスタンプ

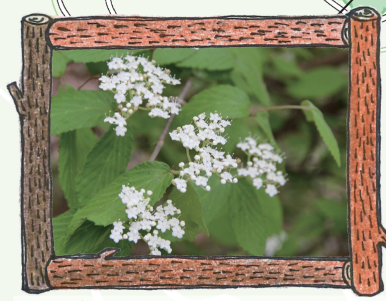
ウワミズザクラ(バラ科)
一見、サクラらしくない花をつけるサクラ。新緑の頃に花を咲かせます。つぼみや果実は食べられるそうです。



ハナイカダ(ハナイカダ科)
葉の真ん中から花を咲かせる変わった植物。その姿を花筏に見立てて、この名前がつきました。雄花をつける木と雌花をつける木があります。

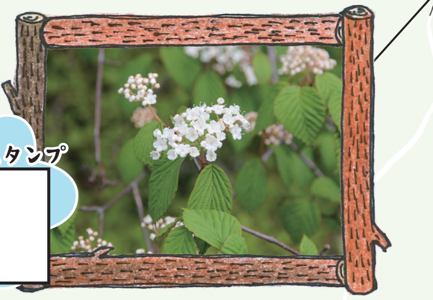


セキショウ(ショウブ科)
端午の節句に湯船に浮かべるショウブの仲間。爽やかな香りがします。木見川沿いで見られますよ。

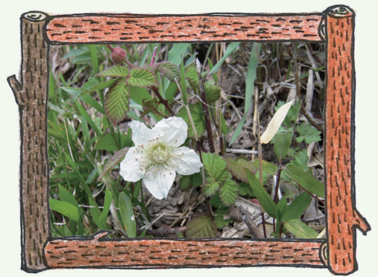


コバノガマズミ(ガマズミ科)
小さな白い花が集まって咲きます。ミヤマガマズミよりも葉っぱが細く、さわるとふわふわした手触りです。

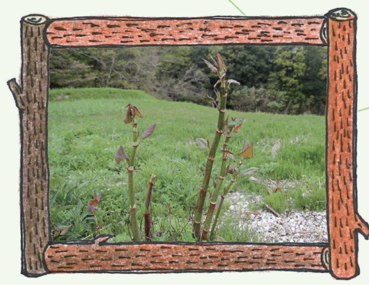
みごろスタンプ



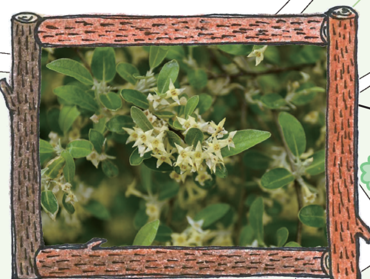
ミヤマガマズミ(ガマズミ科)
小さな白い花が集まって咲きます。コバノガマズミよりも葉っぱが幅広く、毛がほとんどありません。



クサイチゴ(バラ科)
野山のイチゴには木になるものが多いですが、これは草のイチゴ。果実は美味です。

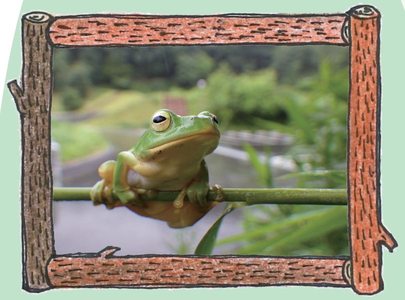


イタドリ(タデ科)
スカンポとも。春の山菜として、昔はよく食べられていました。太い茎を根本で折るとポンッと音がします。

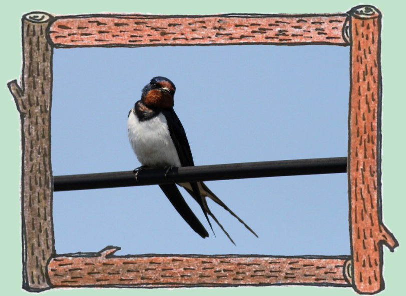


アキグミ(グミ科)
秋に赤い果実をつけます。園内にはナワシログミやアリマグミなどもあります。

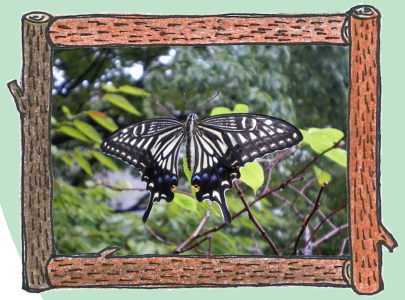
いきもの



シュレーゲルアオガエル(アオガエル科)
春になると田んぼや池の周りで〝コロコロ〟という美しい声が響きはじめます。しかし土の中で鳴いているため、その姿はなかなか見られません。



ツバメ(ツバメ科)
昔からツバメの鳴き声は「土食って虫食ってくち渋～い」と言われます。巣を作るために土をせっせと集める様子から、こんな言葉が生まれたのかもしれません。



ナミアゲハ(アゲハチョウ科)
アゲハチョウといえばこのナミアゲハのことを指します。幼虫はミカンの葉を食べます。